

会 員 各 位

公益社団法人日本包装技術協会 中部支部

第59回中部支部会員総会・記念講演会のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃より当会諸事業につきまして、多大なるご高配を賜り心より御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から一昨年度は開催中止、昨年度はオンラインでの開催とさせていただきましたが、今年度「第59回中部支部会員総会」については、感染防止策を講じた上で、従来の対面方式に戻して下記の通り開催いたします。総会に引き続き、記念講演会も開催いたしますので、併せてご出席賜りますようお願い申し上げます。

なお、会場内の密回避のため参加定員（1社2名まで/全体50名先着順）を設けさせていただきます。会員交流会については、感染症予防の観点から飲食物の提供を控え、参加者間の情報交換・ご挨拶等の時間を設ける形に限定させていただきますので、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。 敬具

記

1. 日 時 2022年6月23日（木）14：00～17：00
2. 会 場 ホテルメルパルク名古屋（名古屋市中区葵3-16-16）3階「シリウス」
3. 会員総会（14：00～14：45）
 - ①2021年度事業報告について
 - ②2022年度事業計画について
 - ③中部支部役員・運営委員について
 - ④その他

※会員総会の配付資料は、後日中部支部のホームページにて公開いたします。

4. 記念講演会（15：00～16：00）

【演題】 『生分解性バイオマスプラスチックの高性能化と包装分野への応用』

【講師】 東京大学 大学院農学生命科学研究科
生物材料科学専攻 高分子材料学研究室 教授 岩田 忠久 様

石油資源の枯渇、プラスチック焼却に伴う地球温暖化、海洋マイクロプラスチックに代表されるプラスチックごみ問題など、プラスチックと環境および人類との共存・共栄を様々な観点から考える必要があります。現在これらの諸問題を解決するプラスチックの一つとして、石油を原料とせず、再生産可能なバイオマスを出発原料とした「バイオマスプラスチック」と環境中で二酸化炭素と水にまで完全に分解される「生分解性プラスチック」の開発が望まれています。本講演では、「バイオマスプラスチック」と「生分解性プラスチック」の正確な理解と生分解性バイオマスプラスチックの高性能化を中心とした当研究室の研究成果と今後の展望について紹介します。

5. 会員交流会（16：00～17：00）

※感染症予防のため、会員交流会での飲食物の提供は控えさせていただきます。

なお、ご出席いただける場合には、別紙記載の【お願い・注意事項】をご確認いただき、申込書欄に必要事項をご記入の上、6月10日（金）までにFAXまたはE-mailにてご連絡下さいますようお願いいたします。